

オミクロン感染爆発と PCR

感染が爆発的に広がり、今後ますます感染者が増加していくものと予想されます。不安に駆られた国民の多くが PCR や抗原検査を求めて奔走する様子が何度となくマスコミに流れ、多くの発熱対応医療機関の外来診療が危機に陥っています。

厚労省は 1 月 24 日に検査しなくても医師の判断において臨床症状のみでコロナ感染と診断しても良いとの見解を発表しました。詳細はまもなく文章で通達される予定ですが、現状の問題点を以下に述べていきたいと思えます。

1. 症状がないのに PCR は必要か？

医療機関での公費の PCR 検査は原則として罹患を疑って検査を行うもので、症状がない場合にはたとえ濃厚接触者でも検査をする必要はないと考えるのが一般的である。まして濃厚接触者でもないのに PCR をする必要はなく、単に PCR だけ希望する者は自費対応になるのが原則である。最終決定は医師の判断に任されるが、感染が爆発的に増加している現在では、無症状の人間に検査をする余裕はないと考える。

2. 症状のない人間はどこに行けばよいか？

現状、御殿場市では薬局チェーンの検査を利用して頂くことになる。

3. 薬局チェーンで PCR 陽性と判断された場合、その証明を持ってきてくれば、感染者と診断しても良いか？ 良いことになった。 その場合保険診療となり、初診料が発生する。その後、保健所に医療機関から発生届を出すことになる。

4. 市販のキットで抗原定性検査が陽性に出たと申し出てきた個人を医療機関が感染者として確定診断して良いか？ これはそのキットの確実性が問題となり、個人の申し出を鵜呑みにしてよいのか？ という問題もあり、基本的には医療機関で再検査したほうが無難であると考え。しかし昨日の報道で神奈川県では個人で診断したものを保健所が認めると言っていたので、今後変化するかもしれない。

5. 治癒したという証明にもう一度 PCR は必要か？ 不要である。どうしてもという場合は自費対応でやることになる。ただし一度罹患した患者さんの抗原量は 10 日間で陰性になるとは限らず、再び PCR 陽性となることが予想され、やること自体が無意味である。

10 日経てば感染力はないと判断して良いというのが現状の基準である。

以下問題点はきりが無い。また刻々と変化していくので回答も普遍的ではない、ということをつけ加えておきます。